

令和3年2月

各 位

八戸市東京事務所長

八戸レポートの送付について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和3年2月号」をお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

昨年9月にオープンした八戸都市圏交流プラザ「8base (エイトベース)」では、料理のテイクアウト販売を始めました。

八戸圏域の海の幸、山の幸を使用した料理をぜひテイクアウトでもお楽しみください。

<テイクアウトメニュー>

- ・北三陸産サバ漬け丼
- ・北三陸産サバ塩焼き弁当
- ・鯖の棒寿司
- ・酒肴おつまみセット

◆詳細はこちらをご覧ください (8base ホームページ)

<https://8base.jp/>

◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

八戸 2月号 レポート

令和3年1月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

【行政】

記事	概要
(1)	八戸市公会堂の改修完了 耐震補強、座席を一新
(2)	八戸市新美術館 本棟工事終了 開館へ準備着々
(3)	八戸市が「自分でできる介護予防」のDVD作製 ～おうち時間で介護予防を～
(4)	八戸圏域交通系ICカード名称案 人気投票を実施

【産業】

記事	概要
(5)	コメの国際大会総合部門 三浦さん（八戸）初の金賞
(6)	澤内醸造 八戸ワイン新作発売 ～家庭料理と楽しんで～
(7)	「あおもりグミ」発売 青森県産リンゴ果汁を使用
(8)	2020年青森県内 休廃業47件増の340件

【地域】

記事	概要
(9)	八工大生 南部せんべいの新しい食べ方やパッケージデザインを考案
(10)	八戸卸センターで「冬の朝市」初開催
(11)	八戸署管内の飲酒運転摘発 28年連続県内ワースト
(12)	光星学院 日本語学校と協定締結
(13)	暗算検定で快挙 工藤さん（是川中3年）最高位の十段取得
(14)	市公民館の証谷館長が冊子「鮫残照」制作 ～鮫地区の歴史や自然 物語に～

【文化・スポーツ】

記事	概要
(15)	YSアリーナ八戸 初の国際大会「世界ジュニアスピードスケート選手権」中止
(16)	八戸えんぶり中止 経済界に大打撃
(17)	第70回スケートインターハイ 橋本（八戸西）が男子1万で悲願の頂点
(18)	YSアリーナ八戸 製氷改善「世界で通用するリンクに」
(19)	八戸西高センバツへ 21世紀枠で初の甲子園

【行政】

記事	概要
(1)	<p>八戸市公会堂の改修完了 耐震補強、座席を一新</p> <p>2019年8月から改修を行っていた八戸市公会堂の工事が完了し、市は1月8日、市議会議員や報道機関に施設内を公開した。建物の耐震補強をしたほか、大ホールの座席は座幅を2センチ拡大し、車いすブースをこれまでの2カ所6席から4カ所10席に増設。全体的に余裕を持たせたため、全座席数は従来より92席少ない1532席となった。天井も改修し、コンサートなどでホール内に音が均一に響くように整備した。また、高齢者や障がいのある人でも2階に移動しやすいよう、エレベーターとエスカレーターをそれぞれ新設し、利便性の向上を図った。1月9日から一般の利用を始めた。</p>
(2)	<p>八戸市新美術館 本棟工事終了 開館へ準備着々</p> <p>八戸市が市庁前に建設中の新美術館の本棟工事が昨年12月末に終了した。地上3階建てで延べ床面積は4881平方メートルと旧美術館の約3倍の広さになる。新美術館は「種を蒔き、人を育み、100年後の八戸を創造する美術館～出会いと学びのアートファーム～」をビジョンに掲げ、ラーニングセンター（学びの拠点）として活用を促す方針で、館内には美術品を展示する「コレクションラボ」のほか、市民が自由に集まって学び活動する巨大空間「ジャイアントルーム」などを設ける。現在は、施設内の環境が収蔵品に与える影響を調べる「枯らし」と、美術館前に広場を整備するために旧青森銀行八戸支店の解体工事に着手しており、今年秋ごろのグランドオープンを目指して準備が大詰めを迎えている。</p>
(3)	<p>八戸市が「自分でできる介護予防」のDVD作製 ～おうち時間で介護予防を～</p> <p>新型コロナウイルスの影響で外出を控えている高齢者らに介護予防に取り組んでもらおうと、八戸市はDVD「自分でできる介護予防」を作製し、2月から市内の公民館や老人クラブなどの関係先に配布している。DVDは約60分で、運動だけでなく介護予防に関する知識や運動の注意点、レクリエーションについて分かりやすくコミカルに解説。自宅だけでなく、地域の仲間が集まって楽しく取り組める内容となっている。希望者には個別に無料配布し、市のホームページにも動画を掲載する予定。</p>
(4)	<p>八戸圏域交通系ICカード名称案 人気投票を実施</p> <p>八戸圏域地域公共交通活性化協議会は、八戸市営バスと南部バスが導入を計画する交通系ICカード「地域連携ICカード」の名称について、五つの候補を対象に人気投票を実施している。名称候補は①「はちか」②「はちも」③「のってこ」④「わーも」⑤「はちばす」の五つ。応募資格があるのは、八戸圏域8市町村の居住者で、投票は応募方法を問わず1回まで。八戸市のホームページから入る専用ページの応募フォームや電子メール、郵送、ファクス、バス事業者の営業所などに設置した投票箱で投票を受け付ける。投票期間は2月1～15日。</p>

【産業】

記事	概要
(5)	<p>コメの国際大会総合部門 三浦さん（八戸）初の金賞</p> <p>国内最大級のコメのコンクール「第22回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」の国際総合部門で、八戸市尻内町の「八戸米米クラブ」代表の三浦政志さんが出品したミルキークイーンが初めて、最高賞の金賞を受賞した。大会は昨年11月下旬に静岡県で開催し、同部門には国内や中国、台湾から計4755点が出品された。三浦さんのコメは、機械による分析で食味値84点、味度値97.6点で最終審査に残り、審査員が実食する官能審査で最高賞の金賞18点の一つに選ばれた。三浦さんは、トップクラスの味との評価を受け、さらなる向上に意欲を見せている。</p>

(6)	<p>澤内醸造 八戸ワイン新作発売 ～家庭料理と楽しんで～</p> <p>澤内醸造は1月22日、栽培から醸造までを八戸市で行った「八戸ワイン」を含む新作4種類を発売した。同市で収穫したブドウを使った八戸ワインは3種類で、白スパークリングの「Wa(わっ)2020」(750ミリリットル 税込み2900円)と、白ワイン「Ga(がっ)2020」(同 1900円)は、ナイアガラとポートランドを原料とし、すっきりとした口当たりが特徴。キャンベルアーリーとワイン専用品種のマスカットベイリーAを使った白ワイン「ff(フォルティッシモ) 2018」(同 2400円)は、ワインの澱と共に熟成させる製法で、独特のこくを引き立たせた。同市と南部町産のキャンベルアーリーを使ったロゼスパークリングの「板前ブリュット」(同 1900円)は、ビールのような軽い飲み口で、和食にぴったりの仕上がりになった。澤内代表は「どれも家庭料理に合わせやすいので気軽に楽しんで」とPRした。</p>
(7)	<p>「あおりグミ」発売 青森県産リンゴ果汁を使用</p> <p>全国農業協同組合連合会(JA全農)とUHA味覚糖(大阪市)は1月19日、青森県産リンゴの果汁を使用した「あおりグミ」をコンビニ「ファミリーマート」の全国約1万6700店で発売した。あおりグミの販売は今回が初めてで、かんだ瞬間から広がるリンゴのおいしさ、程よい弾力感が楽しめる。外装は、県農村工業農業協同組合連合会(JAアオレン)が販売している県産リンゴジュース「あおりねぶた」のデザインを採用した。価格は127円(税込み)。</p>
(8)	<p>2020年青森県内 休廃業47件増の340件</p> <p>民間信用調査会社の東京商工リサーチ青森支店がまとめた青森県内で2020年に休廃業・解散した企業は、前年より47件多い340件に上り、2年ぶりに増加した。休廃業・解散した企業の代表者の年代別割合は、70代が最多の46.4%。次いで60代が25.2%、80代以上は14.1%と、8割超が60代以上。事業承継がスムーズに進まず、事業者の高齢化が休廃業・解散を加速させる一因となっている。業種別では、飲食や宿泊業を含むサービス業が最多の97件。建設業74件、小売業61件、卸売業37件と続く。同支店は「新型コロナの影響は長期化しており、今年さらには増加する懸念もある」との見方を示している。</p>

【地域】

記事	概要
(9)	<p>八工大生 南部せんべいの新しい食べ方やパッケージデザインを考案</p> <p>八戸工業大創生デザイン学科では、「ビジュアルストーリーテリング論」という講義の一環で、昨年4月から南部せんべいの新しい食べ方やパッケージデザインを研究しており、1月13日にプロジェクトの最終発表会が開かれた。6組の学生グループがアイデアを発表し、煎餅を1口サイズにしてチョコレートなどをコーティングする案や、交通ルールを学びながら食べてもらうため、白せんべいに道路標識の図柄をプリントする案など、学生ならではの斬新な提案も。審査の結果、白せんべいに八戸の地サイダー・三島シトロンのシャーベットを挟んだ「せんベット」が1位に輝いた。商品アイデアは、市内の煎餅店や八戸商工会議所などと協議し、今後、商品化の可能性を探る。</p>
(10)	<p>八戸卸センターで「冬の朝市」初開催</p> <p>八戸市卸センター1丁目にある八戸総合卸センターのHOCコネクで1月24日、初の「冬の朝市」が開幕した。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、売り上げが落ち込んだ出店者の収入増を目的に実施され、鮮魚や青果、地元グルメなど約50店舗が出店。初日から買い物客でにぎわった。冬の朝市は2月28日までの毎週日曜、午前6時から10時まで。館鼻岸壁朝市の割引券が当たるスタンプリーも実施している。</p>

(11)	<p>八戸署管内の飲酒運転摘発 28年連続県内ワースト</p> <p>2020年の八戸署管内の飲酒運転摘発件数は計81件で、青森県内の警察署管内で最も多く、28年連続ワーストとなった。県内の摘発件数は329件で、同署管内だけで全体の約4分の1を占める。2017年に八戸市で酒類提供事業者への責務などを定めた条例が施行されるなど、摘発件数は減少傾向にあるものの、他の都市部と比較すると依然として高い水準にある。同署によると、摘発された人の9割以上が男性で、年齢別では40～50代が約4割、次いで20～30代と働き盛り世代が多くを占める。</p>
(12)	<p>光星学院 日本語学校と協定締結</p> <p>八戸市の学校法人光星学院は1月21日、主に中国からの留学生に対する日本語教育と進学サポートを行う、フジ国際語学院（東京）と連携協定を締結した。フジ国際語学院は、1989年に創立された日本語学校。これまでに多くの卒業生を輩出し、国内大学への進学を手助けしてきた。光星学院では現在、八戸学院大、同短期大学部で中国、フィリピンなど4カ国の留学生15人が学んでおり、今回を機に学生間や八戸圏域との異文化交流を促したい考えである。早ければ2022年度の新入生として留学生を受け入れる。</p>
(13)	<p>暗算検定で快挙 工藤さん（是川中3年） 最高位の十段取得</p> <p>昨年11月に実施された全国珠算学校連盟主催の暗算技能検定試験で、八戸市立是川中3年の工藤小陽さんが、最高位である十段を取得した。同連盟主催の試験で十段を取るには、みとり算、かけ算、わり算の計150問を12分以内に暗算で計算し、全問正解する必要がある。答えが6桁に及ぶかけ算も、4秒以内に計算できないと間に合わないほどの難易度で、卓越した計算能力が求められる。今回の段位試験には全国から約900人が受験したが、十段を取得できたのは工藤さんを含めてわずか3人という快挙を達成した。</p>
(14)	<p>市公民館の榎谷館長が冊子「鮫残照」制作 ～鮫地区の歴史や自然 物語に～</p> <p>八戸市公民館の榎谷伸夫館長が同市鮫地区の歴史や自然を紹介する冊子「鮫残照」を制作した。この物語に登場するのは、元漁師で70代の昭一郎と、その孫で小学6年生の幸太。小舟で鮫の海辺を散策しながら、地域の歴史を振り返るというストーリーに仕立てている。戦時中の工事で蕪島と本土が陸続きになったことや、高度経済成長期には道路を造るためにウニやアワビがよく取れた岩場がつぶされたことなど、近代化に伴い変化した海辺の風景を紹介。おじいさんと孫の会話から、江戸時代から現代までの地域の歩みをひもとく構成になっている。税込み500円で、市公会堂で販売している。</p>

【文化・スポーツ】

記事	概要
(15)	<p>YSアリーナ八戸 初の国際大会「世界ジュニアスピードスケート選手権」中止</p> <p>八戸市屋内スケート場「YSアリーナ八戸」で供用開始以来初の国際大会となる世界ジュニアスピードスケート選手権（2月19～21日）について、国際スケート連盟は1月15日、中止すると発表した。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴い、日本が外国人選手の入国を認める特別措置を一時停止したことなどを受けて、開催は不可能と判断した。今回は世界各国から選手、関係者合わせて約250人が参加予定だった。青森県関係では男子日本代表として、先の全日本ジュニア選手権5000メートル2位だった橋本芳彦（県立八戸西高3年）が選出されており、地元競技関係者からは活躍への期待が高まっていた。</p>

(16)	<p>八戸えんぶり中止 経済界に大打撃</p> <p>八戸地方えんぶり保存振興会は1月18日、ユートリーで臨時総会を開き、今年の「八戸えんぶり」(2月17～20日)について新型コロナウイルスの影響により中止することを決めた。中止は大正天皇崩御を受け、当時の「豊年祭」を取りやめた1927年以来で、1972年開始の一斉摺りの見送りは初めてとなる。昨夏の八戸三社大祭の山車運行取りやめに続き、八戸市の冬の一大イベントが中止を余儀なくされたことで、飲食などを中心に経済界への打撃は必至。感染予防の観点から市民は中止判断を冷静に受け止める一方、関係者からは落胆と戸惑いの声が上がった。</p>
(17)	<p>第70回スケートインターハイ 橋本(八戸西)が男子1万で悲願の頂点</p> <p>第70回全国高校スケート競技選手権が1月23日、長野市エムウェーブで行われ、スピード男子1万メートルで橋本芳彦(八戸西3年)が、13分42秒28で栄冠を手にした。31人がエントリーした同種目で橋本は25周のうち、20周で32秒台の安定したラップタイムを刻み、最後までペースを崩すことなく、県高校新の好タイムでゴール。青森県勢の同選手権優勝は、2017年に同種目を制した山本大史(八戸西高-明大)以来4年ぶり。橋本は今大会、21日の5000メートルに続いて2種目での表彰台となった。</p>
(18)	<p>YSアリーナ八戸 製氷改善「世界で通用するリンクに」</p> <p>2019年秋に氷都・八戸のシンボルとしてオープンした屋内スケート場「YSアリーナ八戸」。八戸市から指定管理を受け、製氷作業に取り組むエスプロモ主任の武山靖さんが頼れる“裏方”を目指し、日々励んでいる。武山さんは、長根リンクで15年以上氷作りをしてきた製氷のスペシャリスト。しかし、長根リンクは、リンクの下にあるパイプに不凍液を流して凍らせてきた一方、YSアリーナでは零下13度の液化炭酸ガスを流して氷を作るため、最初のシーズンは氷の硬さや粘りが不安定になってしまったという。氷の質を改善するため、製氷技術を一から見詰め直し、大会ごとに氷面温度を変えるなどして、好記録が出る氷を探った結果、氷面温度を零下6.5～7.0度に保つと滑りやすい氷になることを発見。今季は各種目で好記録が続出している。武山さんは「選手の力を最大限に引き出すリンクを作っていきたい」と語っている。</p>
(19)	<p>八戸西高センバツへ 21世紀枠で初の甲子園</p> <p>第93回選抜高校野球大会(3月19日から13日間・甲子園)の出場選考委員会が1月29日、オンライン会議で開かれ、21世紀枠の東北地区候補校となっていた青森県立八戸西高が選出された。同校は1975年の創部以来、春夏通じて、初の甲子園出場が決定。同枠での選出も青森県勢として初となった。八戸西は昨秋の県大会で準優勝し、初出場だった東北大会ではベスト8入りした。例年、同大会の上位2校が選ばれる一般枠は絶望的となっていた一方、高校野球の模範的な姿を実践するチームが選考される21世紀枠の候補校として推薦されていた。29日の選考委員会では地元の特別支援学校との交流など、競技以外の活動が評価されたとみられる。</p>

ふるさと寄附金のご案内

「ふるさと寄附金」とは、市内外を問わず、「八戸を応援したい」という方々から広くご寄附をいただく制度です。これまで納めてもらっていた税を「ふるさと寄附金」に振り替えていただくことで、直接、寄附者の意向を八戸のまちづくりに反映することが可能となります。

- ◆ 寄附金の使いみちをお選びいただき、「震災復興基金」「奨学ゆめ基金」などの基金積立や、教育・福祉・環境などの各種事業に充てることができます。
- ◆ 寄附をされた金額のうち2,000円を超える分について、一定限度まで住民税の税額控除が受けられます。
- ◆ 法人・団体からの寄附も受付しています。法人の場合、地方公共団体に対する寄附金は全額が損金算入できます。
- ◆ 寄附をいただいた個人の方には、金額に応じて、八戸せんべい汁セットやいちご煮セット、八戸さばづくし、南郷そば・つゆセットなどの特産品を進呈いたします。
- ◆ 総務大臣からの通知（平成29年4月1日付け総税市第28号）を踏まえ、平成29年7月から、八戸市内在住の方へのお礼の品の進呈を取りやめることとしております。

- ①10,000円以上 30,000円未満・・・特産品Aから1品（①のうち、10,000円～15,000円は金額に応じて1品）
- ②30,000円以上 50,000円未満・・・特産品A～Bから1品
- ③50,000円以上100,000円未満・・・特産品A～Cから1品
- ④100,000円以上……………特産品A～Dから1品

詳しくは、八戸市ホームページ内「八戸市ふるさと寄附金について」をご覧ください。

お申込み方法

インターネット

⇒ふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/city/product/02203>) または
楽天ふるさと納税 (<https://www.rakuten.co.jp/f022039-hachinohe/>) からお申込みください。

郵送・ファックス

⇒「ふるさと寄附金申込書」に必要事項を記入して、八戸市住民税課へ送付してください。
「ふるさと寄附金申込書」は郵送でお届けしますので、八戸市住民税課までご連絡ください。
申込書は八戸市ホームページからもダウンロードできます。

< 宛先 > 〒031-8686

青森県八戸市内丸一丁目1番1号 八戸市 住民税課 ふるさと寄附金担当

TEL:0178-43-9232 (直通)、FAX:0178-45-6737、Email:jumin@city.hachinohe.lg.jp

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。

八戸市東京事務所 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973/FAX:03-3239-6723/Email:tokyo@city.hachinohe.lg.jp

所長 古町有加 主査 川村幸男 事務員 籠利京子